



人  
は  
い  
な  
い  
だ  
ろ  
う。  
故  
郷  
が  
ど  
う  
な  
つ  
て  
も  
い  
い  
思  
う  
人  
は  
い  
な  
い  
だ  
ろ  
う。



## 都会は田舎の肩ぐるま

不景気で派遣切りが横行し社会問題になった2008年末、東京では職を失った人々や路上生活者が一時避難的にボランティアが運営する年の瀬派遣村でしのいだ。かなり昔なら、彼らは一旦故郷へ舞戻りいずれまた期を見て出直すというパターンであったろう。

時代は移り、故郷はそんな容れ物ではなくなったのか。長寿は目出度いながらそこには老親があふれ自治体財政も破綻寸前。そういう中で都市難民を田舎で救うなど出来るはずもない。そう考える人も多かろう。

## 何に価値を見いだすか

しかしこうも考えられないだろうか。都会生活は貨幣経済のつぶ。なかなかに厳しいものがある。その厳しさに疲れる人も多い。

人生のどこかの節目に、伸びやかに田舎で暮らしたい、そう願う人も沢山いるはずだ。

救うのではなく移り住みたくなる環境を提供する。それが結果として都会生活者と田舎生活者が助け合うことにならないか。

時代の変化とともに働く形態も大きく変わった。知人である若者が我が町で実践しているインターネットを使った地産品販売、インターネットを使った遠隔勤務、研究活動、創作、ものづくり、ひとをつなぐ活動な

弓削通信(フェニックス)復活号に渋谷区の社会福祉法人「中都」理事長・弓削出身の岡八代美さん(やよみ)のことを少し書いた。

彼女の関心事は都会生活者と田舎生活者は助け合いが出来ないのか、ということにあるようだ。その思いは彼女が若い頃から都会で弱者に向かい合う仕事をしてきましたからかもしれないし、都会の念が強いからかもしれない。改まってそのことを質問したことはないが、故郷ある者に自分の故郷がどうなつてもいいと思ふ人はいないうだろ。

「頼れるふるさとネット」活動拠点「やよみ亭」。弓削のおみやげ品店「ログハウス」から浜都湾へ抜ける道のほぼ中ほどにある。(旧脇坂家)



# 都会と田舎をつなぐ 頼れるふるさと

一生を暮らせる島になりたい。きっと人は来る

頼れるふるさとになろう

先述した町の「総合計画」第6には「島人は自治人」とある。本来住民自治なんてのはお役所が旗を振る仕掛けのものではないはずだ。だから、ハードルはとても高いが、それを住民の手でやろうではないか。

「やよみ亭」と名付けたその活動拠点は「天は自ら助くる者を助く」との古いことわざ通り、我々が受け身ではない住民になるための場と位置づけている。

使い方は能動的な意志を持って集まってくれる皆さんと相談して決めたい。何が住民自治なのかをじっくり語り合いたい。

ひとの噂や中傷をする井戸端会議ではなく、面白いことをやろうや、頼れるふるさとになろうや、という井戸端会議の場にしたい。現在ここを拠点にした「頼れるふるさとネット」というNPO法人の申請中である。

## 毎年一家族の移住実現を

いろいろ計画はあるが、当面毎年一家族を町へ移住してもらうのも目標のひとつにしている。すでに今年は目標に達した。

実はそれに関して昨年借家の申し込みを10件ほど試みた。全てよい返事は頂けなかった。その失望感は大きかったが、反面この活動を起こすきっかけになった。

サイは投げられた。まず目指すは来年の一家族移住の実現である。(平山和昭)

ど、ちょっと前には空想の世界だったような生き方を、学ぶ気概と、今の自分の価値観から一步踏み出してみる勇気を發揮すれば、田舎で暮らすのもまんざらでもないと、若い人達がやつて見せてくれている。

たとえそこが故郷でなくても住みよい環境を求めて人は動く。

## 自治研究会からNPOへ

我が町には2006年から2015年にかけ取り組むべく「上島町総合計画」がある。計画では2015年の人口を7,500人に維持するとしているが現在7,523人で年平均100人余で減っている。平成の大合併、ひとつの自治体最低人口10,000人を大きく割り込み、もう町と呼ぶのすらばかられるような実態だ。

我々は好む好まざるに関わらずこの町の構成員である。その自覚をもって2年前有志と「上島町自治研究会」を立ち上げた。月1回、町民目線で町が抱えて

いる問題を語り合い、必要とあらば動くという実践を重ねてきた。この度その会をベースにさらに活動を広げる目的で、八代美さんの旧家を借り受け活動拠点として改修している。

ありがたいことに地域の人々にはとても関心を持って頂き、実際にいろいろ噂が自走している。その多くは八代美さんのやっている福祉の仕事に鑑み「何かしてもらえるのかな」という「受け身」の噂が多いようだ。

「うきぎ追いし」をうきぎ美味しさと思つた人のことを聞くけど、私は考えられない。何故なら私が小学校の時の音楽の先生は、歌詞の意味をていねいに教えてくれた。ところが偉いに言つてる私も最近信じられない勘違いをしていた事に気がついた。「ほんと、粋な黒堀見越しの松と神輿好きのお松つかんにお富さんの仲良し三人組の歌じやなかつたの?」TVを見ると神楽坂の景色が映つてゐる。

え? あれは粋な黒兵衛さんと、いいですね?

やなかつたの?

お富さん。何十年

ご存じ

「お富さん」。

うなづかれたの?

